

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 205 号	氏名	新里 健暁
学 位 審 査 委 員	主 査	大園 恵幸	
	副 査	田口 尚	
	副 査	小路 武彦	
論文審査の結果の要旨 1 研究目的の評価 本研究は、維持血液透析患者において問題となるエリスロポイエチン (EPO) 抵抗性貧血の原因について解明しようとしたもので、目的は十分に妥当である。 2 研究手法に関する評価 維持血液透析患者では慢性的炎症状態にあることに着目し、慢性炎症による貧血の原因蛋白として着目されているプロヘプシジン (pro-hepcidin) の測定と鉄代謝について鉄欠乏群などの対照群と比較検討したもので、研究手法も妥当である。 3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、EPO 抵抗性貧血の成因に炎症が関与していることが明らかになったが、血清 pro-hepcidin は有意な上昇がなく EPO 抵抗性貧血の原因には、炎症、鉄欠乏、EPO 投与量など種々の要因が関与していることが示唆され、今後の腎不全における貧血研究への進展が大いに期待される。 以上のように本論文は腎臓病学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。			